

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 4 月 1 日

事業所名 きらら守口(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	パーティション等でエリアを分けて対応している	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	1:2か1:3になるように配置している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・パーティション等を使用し、その都度空間作りに努めています・トイレは背が低く便座に届かない児童には踏み台を用意し一人でも座れるようにしている ・事業所内に段差は無く視覚支援も多く設置されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・昼食後は特に食べこぼし等あるかその都度床を拭く消毒したりと心掛けています・毎日掃除を行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	0%	会議をする機会を多くとっている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	職員で共有している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	日を決めて行っている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	50%	・職員で共有している ・検討が必要	実地指導については外部の委託業者が入っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・パート職員も可能であれば研修に参加出来るような難しい・自身からも提案出来る環境	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	会議を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	0%	個別に合わせたツールを利用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	83%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	毎週会議を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	50%	33%	・現在は一人の職員が立案を行っている・担当者1名が立案し支援者とすり合わせを行っている・毎週会議を行っている	内容の偏りや負担増を防ぐために人員整備を行いチームで行えるように努めます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	過去と見比べ支援の内容を固定化しないようにしている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	ニーズに合わせて組み合わせたりしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	机の配置や支援内容等を共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・支援終了後、気になった点等は口頭やメモで伝える→今後の対応支援方法の確認を翌日、次回利用までに検討している・上手くいったこと、難しかった事は共有し改善に努めている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・口頭になりがちですがメモとして残すよう努めたい・指示書などで記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者が参加するようにしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%	送迎時などに保育園での様子を聞いてもらっている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17%	67%	・現在は無いが利用となった場合は連携を行います・現状重心の方がいらつしやらない、連携可能	現在医療的ケアを必要とする児童のご利用がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	17%	67%	・今は無い・現在は無いが利用となった場合は連携を行います・現状重心の方がいらつしやらない、連携可能	現在医療的ケアを必要とする児童のご利用がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	社員さんもやってくれていると思う送迎時に園等と日頃の様子や取り組んでいることなど話して情報交換している。送迎時に気になることなど共有。	こちらから要求し情報共有に努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%	送迎時に気になることなど共有	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	17%	83%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%	間接的に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎で保護者との関りが少ないが何かあれば電話などで話している・送迎時やHUG等で共有を行っている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	33%	67%	・ペアレントトレーニングとまでは行かないが随時相談など送迎時や電話で話し合っている・ニーズに合わせて行っている	保護者会から始め、将来的に実施出来るよう努めています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	来所していただき伝えている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談に対して職員で話し合った後助言や支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		次年度は秋頃に開催出来るよう企画検討に努めます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	HUGやLINEをすぐに職員で共有し対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	活動報告書を毎月HUGに出している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	書類や写真の取扱いには気を付けている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚支援やSOSカードを利用している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	83%	17%	マニュアルがあることは知っている。なかなか目を通すことも出来ずにいる。訓練はもちろん対応方法等しっかり取り入れたい。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17%	50%	・土曜日はわからないが平日の午前中にも避難訓練等もやっておきたい・児発では避難訓練などおこなえていない・避難訓練未実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	83%	0%	来春からの平日午前利用の子どもにはてんかん発作有と聞いているので再度対応確認したい	対応のフローチャートを準備しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	されている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	共有し、いつでも見れるようになっている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。